

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	モニタリングの重要性の認識が浅く、チームで作る介護計画となっていない。	毎月のモニタリングを行う事で、介護計画が利用者本位、本人視点で実施できているか、利用者の状態把握を行う事が出来る。	○介護計画の在り方を研修 ・モニタリングまでの流れを周知。 ・モニタリングの重要性を学んでいく。 ・毎月、モニタリングを行う(ケース記録へ記載する)	6ヶ月
2	37	防災訓練を定期的に行う事で、自己の責任や役割を確立していき、災害対策に備える必要がある。	火災、風水害の防災マニュアルを周知することで、災害対策が出来るようになる。	①事業計画で、防災訓練強化の取り組みを行う。②定期的な防災訓練で、夜間・日中の防災対策が誰でも出来るようになる。③地域の方参加の防災訓練の中で、認知症高齢者の理解を深めていく。	12ヶ月
3	51	その日の個人の希望や、気分転換での外出支援が必要である。	利用者一人からでも、毎日外気に触れることが出来る取り組みを全職員で行う事が出来るようになる。	○事業計画に、取り組み内容を挙げる。 ・日々の、館内・外庭散歩の支援。 ・希望場所への外出企画の支援。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。